

平成 20年度 内部地区総合防災訓練計画

- 1、実施日時 平成 20年 12月 7日 (日) 午前 8 00~ 1 45
- * 小雨決行 大雨洪水警報が出ている時は中止
 - * 天候不順時は、午前 7時までには会長が判断し、連合自治会長緊急連絡網を通じて連絡する

2、場所

災害対策本部 内部地区市民センター

指定避難所 内部小学校 (采女西 采女中 采女南 南小松 北小松 采女が丘)

指定避難所 内部東小学校 (采女北 小古曾 東原 高塚 菱が丘 森が山 泉 中堀)

指定避難所 内部中学校 (貝家 波木 波木第二 波木第三 波木が丘 波木南台)

3、参加人員 合計 528人 … 詳細別紙

災害対策本部 46人

指定避難所 (内部小学校管内) 運営員等 3人 住民 176人 = 207人

指定避難所 (内部東小学校管内) 運営員等 35人 住民 136人 = 171人

指定避難所 (内部中学校管内) 運営員等 28人 住民 76人 = 104人

4、目的 地域防災力の向上

平成 18年度に確立した地域防災計画の検証

災害対策本部を中心とした機能訓練

有事の組織体制と機能確認 情報収集、伝達訓練

指定避難所運営マニュアルに基づく機能訓練

住民避難訓練と防災訓練

内部地区アマチュア無線による情報伝達 収集訓練

5、災害想定

午前 8時に南海トラフを震源とするプレート境界型地震が発生。四日市地域で「震度 6弱」を観測した。その結果多くの人的被害に加えて家屋の倒壊、ライフラインが寸断している。

また、道路の損壊などもあり内部地区の多くの住民は避難生活を余儀なくされている。

6、訓練内容

災害対策本部

本部集合訓練 (震度 5弱以上の地震時は自主的に集合)

各自治会からの被害 避難状況報告訓練 (アマチュア無線と連携含む)

指定避難所との連携訓練

指定避難所

災害対策本部との連携訓練

リーダー 施設管理者 行政の機能訓練

広報訓練 (対策本部と連携で行う)

避難所内運営訓練 (名簿 立入り禁止 要援護者対応 組編成・簡易トイレ組立て等)

避難所運営委員会の設置

住民避難訓練と防災訓練

指定避難所へ徒歩での避難訓練

救命 救護等訓練 (AED 応急手当 三角巾)

炊き出し訓練

内部地区総合防災訓練明細事項

1、災害対策本部

本部集合訓練

震度 5弱以上の地震時は自主的に本部へ集合
徒歩又は自転車による。

災害対策本部設置

災害緊急放送およびサイレン発鳴
センター広報車による広報活動

自治会からの報告

被害 避難状況を徒歩または自転車等で報告。

アマチュア無線による報告を受ける。(小古曾 采女南部 波木ヶ丘)

市災害対策本部へ被害 避難状況報告

市民センター経由で報告

市災害対策本部から対応状況や結果 指示を受ける

関係自治会へその結果を報告する(今回は内部地区災害対策本部までとする)

指定避難所との情報交換

市行政無線により避難状況 水 食料等につき情報訓練

要援護者の確認

指定避難所からの問い合わせにより「要援護者」の確認

避難所運営委員会設置

指定避難所に「避難所運営委員会」の設置されたことの確認

2、指定避難所(人数 内部小学校 内小 内部東小学校 東小 内部中学校 内中)

指定避難所の開設

施設管理者(2人) 行政担当者(1人) 避難所リーダー(1人) 計各4人

施設内の安全確認 避難所施設の開設

避難所リーダー 指定避難所全体の指揮 命令

総務班(内小 内中 = 各 5人 東小 = 7人)

避難所運営業務全般のとりまとめ

外部へ連絡確保および本部への連絡

放送設備等の点検

屋内 屋外立ち入り禁止スペースの指定

各自治会の組み分け(生活空間の割振り)

トラブル対応(避難所内でのトラブル対応)

マスク対応

避難所運営委員会設置

名簿班(内小 内中 = 各 2人 東小 = 3人)

避難者名簿の作成及び管理 各種情報の管理および提供

食料班 物資班 (内小 内中 = 各 2人 東小 = 3人)

避難所食料の配給 不足食料の要請 避難所生活物資の配給

救護班 (内小 2人 内中 1人 東小 2人と各避難所に 1人負傷者対応)

負傷者対応 「災害時に活躍が求められる資格者 経験者」の方をお願いします。

災害時要援護者 (高齢者 障害者 幼児 妊産婦など)への支援

衛生班 (内小 2人 内中 1人 東小 2人)

避難所衛生環境の管理

ペット同伴者に対応 (ペットは避難所内には入れない)

トイレを清潔に! ゴミ分別 収集要請・簡易トイレの組立て

連絡 広報班 (内小 内中 東小 = 各 2人)

避難所ルールの説明

避難者の呼び出し業務 情報の管理及び提供 (余震 風呂など)

安否情報伝達

誘導班 (内小 内中 = 各 1人 東小 = 2人)

避難所周辺の交通整理 今回は避難所内の誘導

10 状況説明班 (内小 内中 東小 = 各 1人)

避難所内での訓練状況を住民の皆さんに逐次説明

11 写真班 (内小 内中 東小 = 各 2人)

3. 住民避難訓練と防災訓練

住民避難訓練

各町独自の訓練

指定避難所へ徒歩で避難

防災訓練

A. 救命 救護訓練

AED 各避難所 3個使用

応急処置 三角巾など

指導員 南消防署員 1人 (今回は内部小学校のみ配置)

” サルビア分団 各避難所 1人 (計 3人)

” 内部消防分団 ” 3人 (計 9人)

B. 炊き出し訓練

アルファーマ 528人分

内部小学校 207人分

内部東小学校 17人分

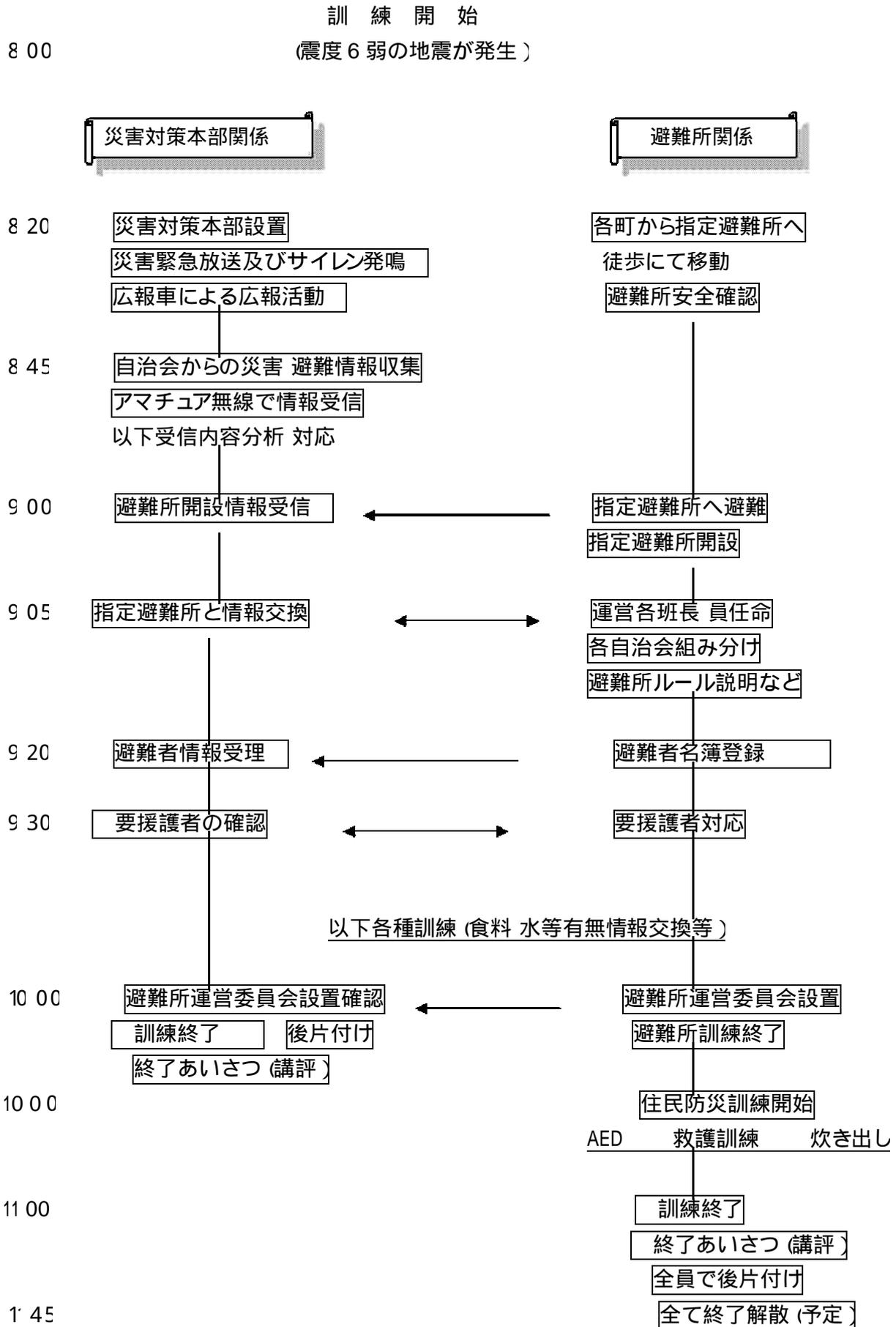
内部中学校 104人分

災害対策本部 46人分

災害対策本部関係者分は手渡しとする。

指導員 内部婦人会 各避難所 2人 (計 6人)

内部地区総合防災訓練進行概略図



内部地区総合防災訓練参加人員

	総 計	528人
	災害対策本部	46人
	指定避難所	482人
内訳	内部小学校	207人
	内部東小学校	17人
	内部中学校	104人

< 災害対策本部参加人員 >

本部員	37人		
行政関係者	4人		
アマチュア無線関係	5人	左の内 4人は住所地にて活動	
合 計	46人		

< 指定避難所関係参加人員 > (敬称略)

事 項	内部中学校区	内部小学校区	内部東小学校区
施設管理者	2人	2人	2人
行政関係者	人	人	人
避難所リーダー	有竹 征和	渡辺 登	田中 美登
避難所運営班員等	16人	18人	23人
住民参加 (自治会)	貝家 12人	采女西 37人	采女北 28人
"	波木 16人	采女中 22人	小古曾 24人
"	波木第二 5人	采女南 25人	東原 10人
"	波木第三 4人	南小松 13人	高塚 24人
"	波木ヶ丘 16人	北小松 9人	菱が丘 6人
"	波木南台 23人	采女が丘 70人	森が山 2人
"			泉 9人
"			中堀 14人
訓練状況説明者	堀 善澄	飯田 明夫	保黒 時男
内部婦人会 (炊き出し)	2人	2人	2人
南消防署員		人	
内部消防分団員	3人	3人	3人
サルビア分団員	人	人	人
救 護 員 (看護)	人	人	人
訓練終了挨拶 (講評)	伊藤 頼夫	堀 保	木田富喜二
合 計	104人	207人	17人